

## 京阪神金合同執行委員会報告

10月28日神戸勤労会館にて合同で開催されました。各分会からはこの情勢の中、制度廃止提案書なるものの内容や不安など各職場会集約の意見が出されました。

どぶいた68号発行を踏まえ、わたしたちは一歩ずつ闘いが前に進んでいく中、11月13日に全員参加の臨時大会、集会を控えどんな意見も不安も出し、たたかいを構築していくことを確認しました。

合同執行委員会を終えて今の状況を一致した認識にたつて。

各々自分に置き換えて言えば一人づつ抱えているものが違い、百人百様のビジョンがそこにあります。しかし、何度もいうように、あの提案書に沿って考えてしまえば一人ひとりが切り崩され力を結集、団結させられないようになってしまいます。

会社が出した5枚のペーパーに触れていけば、制度廃止だけがきまっけていて、あとのことは何も触れられていないことが脅威なのであります。提案後一方では個別面談を強行していますが、その具体性が見えないがゆえに、人間はこの短時間ひとりになることで自己のエゴ、私利私欲を考える時間を与えられているのです。このような心理作戦、高等な戦術にはまってはいけないということです。本当に頭が下がる思いです。(>\_<)ハイ。

ここで話は戻って、どぶいた68号にあるよう会社は組合と協議することをはっきりと公言しました。あの5枚は私たちにとっては最低限の会社の考え方として受け止めるぐらいのもので細目や検証するには、まだあたいしないということです。今まさに、双方話し

合いのテーブルにやっかついたのです。「これからなのです。」今までみないな社内ルールでなく、法的にきっちり組合と話をもたなければいけないということが明確にされたのですから。それと全損保本部も全面支援でたたかうことを決議しました。

これからたたかってこの制度を守り、生活雇用を守るのであります。だからあれは、あくまでも希望退職を募っているものであり、真っ向から退職勧告を受けた時初めてみんなで考えればいいと思います。

{ 編集後記 } よもやまばなし

しかし、お金に弱いなあ。とつくづく思いました。すぐそろばん弾いてしまう自分だから。ちょっと前にF火災が45歳希望退職募った時、150名枠が一日で埋まったと聞いた。ちなみに確か4500万だった記憶が...うーん。仕事の値段も命の値段もうちは示談交渉はたけているからなあ。1.5倍、2倍、3倍...?ありうるかな。でも、そんなこと現実にあつたら本気で契約係がいらないということのあらわれだ。確信犯だな。

全損保日勤外勤支部大阪分会